

# 共生

奈良県生協連

2010年1月

NO.75

## 万葉のいぶきを求めて—(40)



宮滝遺跡付近から象山を望む

み吉野の <sup>きさやま</sup>象山の <sup>ま</sup>際の <sup>こぬれ</sup>木末には <sup>こ</sup>こ <sup>だ</sup>も <sup>騒</sup>く <sup>鳥</sup>の <sup>声</sup>かも  
<sup>やま</sup>山 <sup>べ</sup>部 <sup>あか</sup>赤 <sup>ひと</sup>人

吉野はまさに大自然の中という感を深くする所。近鉄吉野線上市駅からバスで20分程で宮滝バス停に着くと、中荘小学校の門のそばに「宮滝史跡」の石碑が立っています。ここは縄文～弥生時代の遺跡でもあり、斉明朝に吉野宮が造営され、持統朝に拡張、聖武天皇の頃まで存続したようです。中でも持統天皇は在位中31回もここに行幸しています。吉野は、夫である天武の壬申の乱の挙兵の地。乱の後、6人の王子達に団結を誓わせた地として天武・持統にとっては殊の外忘れ難い思いの染みついた地であったからでしょう。

この遺跡の前を吉野川が流れ、対岸には雄大な吉野の山脈<sup>やまなみ</sup>が連なり、目の前にそびえるのが象山です。この歌は、時代が下がって山部赤人が聖武天皇の吉野行幸に従った際に詠んだ歌といわれます。「あの象山の木の梢のあたり、たくさんの鳥たちが鳴いているよ」象山には今日も万葉の昔のように「ここだも騒ぐ鳥の声」があたりに響いていました。



# 新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

奈良県生活協同組合連合会 会長 瀧川 潔



奈良県生協連会員生協の皆さま、そして奈良県をはじめご支援ご協力をいただいている多くの関係者の皆さま、2010年の年の明け、誠におめでとうございます。

昨年は世界の変革に向かう大きな転換の気運の中で、日本においても、戦後64年の長きにわたって続いてきた政権が、市民の意思によって一気に覆った劇的な転換の年となりました。新政権は長年の課題に立ち向かっていますが、当然とはいえ難問は一気に解決できそうもなく立ちはだかっています。これらをしっかりと改革の方向に向かせ続けるためには、主権者である消費者・市民、特に暮らしを土台とする生協とその組合員の役割が極めて重要になっていると思われます。

昨年は、協同組合の父といわれる賀川豊彦が活動を開始して100年の記念すべき年でもありました。11月の生協大会においても賀川から学んだように、私たち市民のよりよい暮らしは、社会との関係を抜きには追求することができず、暮らしを土台とした運動と事業を進めて、自覚ある消費者・組合員として社会に目を開くことが大切です。混沌とした世界のなかでも、経済的社会的格差の縮小、環境・平和の課題の推進、福祉の増進等々において、市民の力がこれを進めるモーメントとなっている世界的な流れを再確認しつつ、みんなで活動を進めてゆくことの大切さがひしひしと伝わった年でありました。

新しい2010年は、奈良県生協連の20周年にも当たります。生協をはじめとする一連の

消費者の活動に支えられて昨年誕生した消費者庁を、真に消費者・市民のための行政力が発揮されるものとするよう、また奈良県の消費者行政においても充実強化がなされるよう、今後いっそうの積極的な取り組みを進めることが必要です。

今年も経済の厳しさは継続する模様であり、消費の低迷の中でも大和郡山市に巨大なイオンモールが開店する等、流通での競合は深刻な様相を呈しています。組合員の声に基づいた役職員の奮闘でさらなる事業の改革、再構築を進める必要があります。また、昨年12月のCOP15以降の引き続く地球環境課題の推進やアースデイなどの取り組み、核兵器廃絶の国際的な動きの中で5月ニューヨークのNPT再検討会議やピースアクションへの取り組み、暮らしの改善や商品関係で組合員の活動参加を進める各種の取り組みなど、生協の活動と事業の推進を、今年も着実に進めてまいりましょう。

奈良県生協連の発展は、地域生協、労済生協、大学生協各会員の活動と事業の発展によって支えられています。20周年の今年、県連の役割を再度強め、連帯と協同、会員生協の強化につながる取り組みを、みなさんとともに充実強化してまいります。会員生協および関係者の皆さま方のいっそうのご協力、ご支援を心からお願い申し上げます、新年のごあいさつといたします。

## もくじ

新年のご挨拶 瀧川潔県連会長…… 1	県への要望書・NPT再検討会議……… 7
新年のご挨拶 荒井正吾奈良県知事… 2	広がる協同・くらしの輪……… 8
COP15 コペンハーゲン代表団報告… 3、4	つながる連帯・友好の輪……… 9
賀川豊彦記念企画報告……… 5	消費者庁発足記念シンポジウム…… 10
奈良教育大学生協の巻……… 6	



## 新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

奈良県知事 荒井 正吾



奈良県生活協同組合連合会の組合員並びに関係者の皆様、明けましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとりまして幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年は、我が国の本格的な首都「平城京」が誕生してから1300年にあたり、これを記念する平城遷都1300年祭が開幕しました。日本の歴史・文化が連綿と続いてきたことを祝い、感謝し、未来の安寧をお願いするお祭り、平城宮跡でのイベントをはじめ、県内各地でも一年間を通して多彩な行催事を展開します。このような意義深いお祭りを契機に、わが国や奈良が元気になるように今年一年間は、その成功に全力を傾注したいと思います。

就任以来、「上司は県民」との意識を持って、効率的な行政運営と県民ニーズを踏まえた諸施策の実現に積極的に努めてまいりましたが、依然厳しい状況にある本県の経済・雇用情勢や様々な分野での格差等を踏まえると、県庁一体となって、県政諸課題へのさらなる取り組みを積極果敢に進めていく必要があります。

今年の実行財政運営の方針としては、昨年から引き続き、『経済活性化』と『くらしの向上』を二本柱とし、「地域の自立を図り、くらしやすい奈良を創る」ことを目指します。

そのために、「地域の産業、経済の振興、雇用の確保」に努め、今後の奈良経済を支える産業の育成に尽力したいと思います。「県内の消費拡大」も大事な目標ですし、奈良らしい農業の振興、林業の活性化も進めていきます。

また、健康づくり、医療、福祉が連動した取り組みを推進します。高齢者や障害者など誰もが住み慣れた地域で安心してくらすための日常生活のサポートや子育てしやすい地域

づくりなどにも取り組みます。

さらに、「くらしやすいまちづくり」、「教育の充実」、「安全・安心の確保」にも取り組みます。また、「人権文化の創造」を目指して、人権教育、啓発、相談などを柱に、人権尊重の視点に立った行政の推進を図ります。

私たち奈良県民には、1300年前、国づくりに力を尽くした先人たちの未来を切り拓く力が受け継がれています。この一年を、皆様と力を合わせて、奈良県の未来を創るための力強い一歩を踏み出す、希望に満ちた年にしたいと考えております。県民の幸せを実現することを基本に、「奈良県を良くしたい」という強い思いで、常に県民の視点に立って施策を進め、県民から信頼される県政をさらに発展させるべく、全力を尽くしてまいります。皆様の一層のお力添えを心からお願い申し上げます。

最後に、奈良県生活協同組合連合会並びに各生活協同組合のますますの発展を祈念申し上げて新年のご挨拶をいたします。



# COP15

# コペンハーゲン代表団報告

奈良県生協連も参加する「温暖化防止 COP15 ネットワーク関西」から市民生協・大学生協、環境 NGO、消費者団体、労働団体など 41 名が代表団として COP15 に行き交渉を見まもり、市内でのデモンストレーションや各国政府代表団に合意を求める行動を行いました。(12月10日～16日 帰国17日)

(サークルおてんとさん 清水順子)

## ■国連気候変動枠組み条約 第15回締約国会議 (COP15)



休憩中 ここで締約国会議が開かれる  
2009.12.11



科学上および技術上の助言に関する補助機関会合 (SBSTA) 2009.12.12

COP15 は、12月7日から18日まで2週間にわたって開催。各国政府が地球温暖化への対処のあり方について交渉し、2013年以降の国際的な制度について合意するための会合で、国際社会が地球温暖化問題に対処できるかどうかの重要な分岐点でした。COP15では条約と京都議定書の締約国会議など6つのセッションが開催されました。代表団が行っている間は交渉が水面下で行われ表向きはほとんど進展なし。

先進国と途上国の対立が強く、交渉は難航。最後の18日は首脳級会合が開催され、夜が明けた19日まで会議は続行。削減目標を見送り「コペンハーゲンアコード(合意)」を決議でなく、テイクノート(留意)。しかし、先送りであり、すでに被害が出ているツバルやアフリカにとって事態は深刻なまま。決裂という最悪の事態は回避したものの法的拘束力のないまま課題を多く積み残し閉会。

COP15には最多の政府関係者や環境 NGO が参加。14日には参加者が4万人近くになり世界の関心がコペンハーゲンに。15日以降は NGO 参加者の大幅な人数制限がおこなわれ、参加登録も入場もできない状態に。議長も交代するなど波乱の会議でした。



COP15会場 (BellaCenter) 付近 1tのCO<sub>2</sub>を示す気球



海面上昇で危機にさらされる人々を表現するモニュメント



COP15の会場のコンピューターセンター NGOも自由に使える



メディアセンターやカフェテリアなどのサービススペース

### ■「留意」されたこと「コペンハーゲンアコード(合意)」

- 気温上昇を2℃以内に抑える
- 具体的な中期目標の言及なし  
2020年の排出削減目標を10年1月31日までに  
先進国 削減目標を提示(京都議定書より強化)  
途上国 排出抑制行動を提示
- 長期削減目標 言及なし
- 削減の検証 先進国 国際的な検証を受ける  
途上国 支援を得た削減事業は国際的な検証を受ける
- 10～12年に計300億ドルを支援。20年までに年1000億ドルの支援
- 京都議定書の延長の明示的言及なし
- 技術移転を促す枠組みづくり



12月12日には日本が交渉をブロックしたとして不名誉な「化石賞」を受賞。第2位はパプアニューギニア(国際 NGO・CANによる)

## ■コペンハーゲン市内のパレード

12月12日にCOP15での野心的な合意を求めて、5万人以上の世界のNGOや市民がコペンハーゲンの街をパレード。

「温暖化防止COP15ネットワーク関西」代表団は手づくりのシロクマ帽子をかぶり横断幕を持って行進。シロクマ帽子が目を引き、海外メディアやNHKも取材。家族連れも参加。思い思いの衣装や歌を歌うNGOもあり、前半は和やかだったが、過激な行動に出たNGOの逮捕者が900名を超えたとの報道も。地元新聞にもシロクマ帽子をかぶったメンバーが掲載されました。



王立図書館前スタート



各生協の横断幕を持って



ならコープの横断幕



窓や沿道から手を振り  
応援する市民

会場では工夫を凝らした衣装でアピール



地元新聞に取り上げられました

### ■僕が見てきたCOP15

COP15に参加する最終日、会場のベラセンターにて皆さんと一緒にパフォーマンスを行いました。しろくまの帽子をかぶり、「先進国は40%削減を!!」等と書かれたペーパーを持ちながらのパフォーマンスは各国の政府関係者やNGOの関心を引くことができ、日本の市民の声が発信できたと実感しております。

また最終日にはノーベル平和賞を受賞したマータイさんとパン・ギムン国連事務総長の講演に参加することができ、マータイさんの「今こそ行動を起こすべきだ!! 議論は十分にすんでいる。私も行動を起こす。みなさんと一緒に!」に鳥肌が立ったのを今でも覚えています。今回、COP15に参加してみて、私は「今世界がどのように動いているのか」、「世界はどの方向に向かおうとしているのか」肌で感じる事ができました。我々は地球を守るために行動しているわけではない、我々自身の生活、そして人類を守るために行動しているのである。(中島 光)

### ■市民と社会でさらに先にすすめよう!

決裂はさけられたものの国益の衝突で何も決まらない先送りのシナリオになりました。合意に盛り込まれるはずだった先進国の削減目標については具体的に掲げられませんでした。2℃におさめるための具体策を決められず、実質的な議論は先送りです。一刻も早く法的拘束力のある国際的な枠組みの確立が求められています。デンマークでは、市民が政治にも参画し国民満足度は高い。住宅の断熱が進み、地域暖房で室内は日本よりよほど暖かい。自転車道が整備され、食料自給率も再生可能エネルギー導入率も高い。省エネ国といわれる日本も学ぶことが多く、市民と社会で進めなければいけません。今後策定されるであろう国の温暖化政策も大変重要です。市民力の発揮が求められます。



車道と分離した自転車道



COP会議場でのマータイ氏とパン・ギムン国連事務総長の講演  
(撮影：中島 光)



(提供：ならコープ)

(右) 津田八重子さん  
(ならコープ)  
(中) 中島 光さん  
(奈良県立大)  
(左) 清水 順子さん  
(サークルおてんとさん)  
奈良県からは3名が  
COP15に参加。



# 賀川豊彦



11月15日、なら100年会館において『賀川豊彦を知っていますか?～新たな共生社会をめざして～』が開催され、400人を超える参加者で会場はほぼ満席になりました。

1909年、賀川豊彦が神戸にあるスラム街で活動を開始して100年にあたる今年、全国で様々な行事が行われていますが、奈良県でも賀川豊彦の理念を引き継ぐゆかりのある団体9団体（奈良県農業協同組合中央会、奈良県農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会奈良県本部、奈良県森林組合連合会、奈良県生活協同組合連合会、奈良YMCA、共栄火災海上保険（株）関西支店奈良支社、馬見<sup>みょうとう</sup>労働保育園、協同福祉会）と生協大会の共催で開催されました。



逸見啓実行委員長挨拶



## ■記念講演

コープこうべ協同学苑理事長で、今回73年ぶりに出版された『友愛の政治経済学（賀川豊彦著）』の監修をされた野尻武敏氏から、賀川豊彦の社会活動を、戦争と世界恐慌という時代背景、考えの指針となった三つの柱（信仰と社会運動・人格と友愛・唯心論）、そして世界連邦や協同組合運動など残したものをわかりやすくお話しいただきました。また、リレートークの後、3人のお話に触れて、奈良で引き継がれている協同・共生の精神の大切さ、世界で高く評価された賀川の理念を今の時代こそ受け継ぐことが重要と締めくくられました。

## ■リレートークでは

馬見労働保育園の前園長宮原直樹氏から、賀川の下に集まったイエス団の掲げた精神とその活動、馬見労働保育園や豊徳館\*など、奈良との縁と共生の大切さをお話しいただきました。

奈良YMCA 藤井辰男氏からは、YMCAの精神、賀川の社会活動とそれを支えたYMCAの歴史、関東大震災から始まった様々な精神的な震災支援など、これからの役割などをお話しいただきました。

堀内金義氏からは、明治時代末に発志院信用組合（後の元治道農協）を創立した越智太兵衛氏の業績、生産者と生協をつないだ産直活動から学んだことや共に取り組む農業の重要さをお話しいただきました。

また会場の協同福祉会の南裕子氏から、介護の現場から自立しようという意志の重要さが賀川の教えに繋がるというお話をいただきました。

アンケートは59枚回収され「ここまで広い活動範囲とは知らず驚いた」「こんな日本人が存在していたことに感銘を受けた」「協同組合で働くことに誇りを持った」「人格がある友愛経済、心に染みた」「奈良でも賀川の教えを引き継ぎ、共生社会をめざしていることは素晴らしい」「時間が短く残念、もっと聞きたかった」など、多くの感想が寄せられました。



(\*豊徳館; オリンピック金メダリスト野村忠弘を生み出した広陵町にある柔道場)

# 大学生協におじゃましました

大学生協では、学生さんたちの「食べること」の応援や学生委員の「気づき」を大切にしようと様々な取り組みが行われています。今回は、昨年の11月にリニューアルオープンした奈良教育大学生協をご紹介します。

## 「自分も、まわりも、ともに楽しく」～奈良教育大学生協の巻～

### リニューアルオープン！

11月4日のよく晴れた日。奈良教育大学生協の食堂と店が改装オープン。

長友学長と河上生協理事長や先生方、昨年度の瀧花学生委員長5名でテープカット。2008年から奈良教育大学のマスコットキャラクターの『なっきょん』も登場。『なっきょん COOP カード』（チャージして使用）もこのリニューアルと同時に使えるようになりました。学生会館との通路に屋根ができてこれからさらに便利に。



チャージ機は今のところ、1000円札のみ。レジ2か所では高額紙幣も受付



### 「私の企画」を提案します！

オープン後の11月26日。お会いしたのが、「新生協のオープニングを祝して」と題した企画書を理事会に提案した佐藤恵理子さん。10項目の「夢」を提案。①世界の料理コンテスト②奈教料理人コンテスト③食堂利用者100人分の1④大食い発見!⑤奈教オリジナル弁当⑥食生活カウンセラー⑦なっきょんツアー⑧奈教ヒット2009年⑨もし奈教が100人の村だったら…⑩生協公開掲示板。佐藤さんが『言語・社会コース』に在籍しており、留学生や下宿生と関わりの深い立場だからこそ実現性のある提案ばかり。「すぐにも実現できるものもあり、関わる人々を巻き込みながら丁寧に実現したい」と山下専務。「夢」の実現、楽しみです。

佐藤恵理子さん



### 意識が変わった 私がやります！

次にお会いしたのは、学生委員長の三浦友紀さん。5月総代会から委員長として年間びっしりの行事をこなす。4月に自ら委員長を。学生委員は2回生8名。1回生15名。委員長、副委員長、書記のほか「共済」「平和・環境」「組合員」「店舗」「広報」の分担があり1回生にはすべて経験してもらうことに。

今年はさらに生協の改装とそれに合わせた「なっきょん COOP カード」の導入もあり、夏休み中のカード普及のためにチラシづくり、10月初旬からカードの受け渡しなどシフトを組んでオープンを迎えた。そのあとも新入生歓迎の行事準備が続く。機関誌「KARIN」の発行も年4回。学生委員会の部屋「BOX」には予定のスケジュールがびっしり。12月2日開催の「食生活相談会」では「ヤニ検」「体組成」「お肌チェック」「血圧検査」「食生活相談」のブースを設定。栄養士さんの支援も受けながら各ブースに学生委員2名ずつ入ってアドバイス。「BOX」のカレンダーにメンバーの誕生日も書いてあり、仲間と楽しみながらもハードに実行できる秘訣を見つけたような気がします。



三浦委員長と山下専務

#### 三浦友紀さんにインタビュー

★昨年群馬での研修セミナーに行って自分が変わった。「学生委員会を変えなければ！」と思うようになった。計画は実行します！気持ちの良い爽やかな責任感が伝わってきました。



食生活相談会担当の藤田絢香さん



食堂が広く明るく



食堂では、サラダバー。100g = 105円。総菜コーナーも充実。パスタの学生の要望もかあったとか。

# 2010年度に向けた県への要望書

生協連では毎年10月に県知事宛に次年度の県行政施策に対して要望書を提出しています。今年度は以下の項目で要望を行い、行政協議会の場で各課の回答も含めて消費・生活安全課から回答いただき、意見交流しました。

**「奈良県の消費者行政・食品安全行政の充実強化に向けた施策に対する要望」では**

- \* 県庁内に消費生活安全行政会議の設置
- \* 消費者行政活性化計画における県のリーダーシップの発揮
- \* 食品安全条例の制定
- \* 循環型農業、有機農業の推進など8項目

**「温暖化防止に向けた施策に関する要望」では**

- \* 森林の温暖化対策への積極的活用
- \* パーク&ライドやアイドリングストップなど排ガス対策
- \* レジ袋削減の推進
- など4項目を提案しました。

**「防災問題に向けた施策に関する要望」では**

- \* 「災害時における緊急物資供給等に関する協定」の見直しと防災プラットフォーム委員会の役割発揮のための連携強化など2項目

消費生活審議会の公募制導入や「災害時物資協定」の年度内改訂などは前向きに進められ、その他の項目では県の実施状況、生協の取り組みなど意見交換をしました。食品安全条例制定の提案は継続案件となりました。

# NPT再検討会議に向けた動き

12月10日、東京で県連平和活動交流会が開催され、全国から41名が参加しました。テーマは「2010年NPT（核不拡散条約）再検討会議の成功に向けて」と謳われ、広島平和文化センターのステイブン・リーパー氏の講演と各県連の取り組み交流がありました。

リーパーさんからは平和市長会議の発足と2020年ビジョン発表、CANT（都市を核攻撃の目標にするな）署名、ヒロシマ・ナガサキ議定書（2009年8月）、広島市長会議への賛同拡大などの動きを世界情勢も交えてお話いただきました。核抑止力という国際政治の論理が、今やテロ組織の脅威にさらされており、来年のNPTで速やかに核廃絶への工程に入る重要性をお話されました。

平和市長会議には12月1日現在、目標5,000都市に対して世界で3,396都市、奈良県内6市町（奈良市、生駒市、五条市、斑鳩町、大和郡山市、橿原市）を含め日本では479市町村区になっています。また、黒田征太郎氏の絵になる「ヒロシマ・ナガサキ議定書を読む絵本」の普及に取り組む「Yes! キャンペーン」も、平和市長会議への賛同呼びかけを展開しています。

ならコープではNPTに組合員・職員3名の派遣準備をすすめており、全国では既に100名を超える生協の仲間から参加表明がされています。平和市長会議への参加の広がりと共に世論作りがNPTの成功に大きな力となります。生協連ではCANT署名は2007年度に取り組み1822名の賛同をいただきました。次年度に向けて講演会を準備しており、またYMCAとも連携して取り組みを進めていきます。



# 広がる協同・くらしの輪

## □コープ自然派奈良で温暖化問題の学習会を開催しました。

11月26日(木)奈良市男女共同参画センター「あすなら」でコープ自然派奈良が、気候ネットワークの豊田陽介氏を講師に勉強会を開催し、組合員など11名が参加しました。「新しいルール(気候保護法)を作って温暖化を抑制しよう」という『MAKE the RULE キャンペーン』セミナーとして開催。温暖化の深刻な現状、国際会議COP15での重要な論点、世界の低炭素社会に向けた流れが紹介されました。90年比2020年30%削減のシナリオも紹介され、市民とともに街にあった低炭素都市を実現することが重要だと話されました。参加者から、原子力推進に関する不安や質問も出されました。



## □第12回奈良県食品安全・安心懇話会が開催されました。

11月30日(月)猿沢荘で奈良県食品安全懇話会が開催されました。平成20年度奈良県・奈良市食品衛生監視指導結果や「食の安全・安心行動計画(平成20・21年度)」について報告、また委員からの提案について協議されました。ならコープ森理事長からは、「食品安全に関する条例の策定」について提案され意見交換が行われました。



## □「クールな地球へ! 京都アクション2009」

デンマーク・コペンハーゲンでCOP15が開催されている12月12日に、「実効性ある合意を」「温暖化をとめるCOP15の成功を」と世界各地でアピールする取り組みが行われました。「京都議定書発祥の地」の京都では、「クールな地球へ! 京都アクション2009」に、150名が参加し京都市内をパレードしました。「先進国は野心的な目標を設定せよ」の呼びかけと「Yes・We・Can」などの唱和が都大路にこだましました。時折雨の降る中のパレードでしたが奈良県から6名参加しました。



### 奈良県生協連第4回理事会報告 11月19日 労済生協会議室

#### 【主な審議事項】

- (1) 賀川豊彦献身(活動)100年記念奈良企画(第20回生協大会)のまとめについて
- (2) 奈良県生協連創立20周年記念の取り組みについて
- (3) その他事項
  - ① 2009年度会員生協役員研修について
  - ② 消費者庁発足記念講演会について
  - ③ 食の安全に関する学習会について
  - ④ COP15の取り組み
  - ⑤ 近畿地区大規模災害図上演習及び奈良県生協連災害時対応要綱案について

### 2009年度奈良県連 会員生協役員研修会 を開催します。

- 3月18日(水)  
15:00~16:30
- テーマ  
生協の内部統制について
- 会場  
奈良県文化会館会議室

# つながる連帯・友好の輪

## □韓国農林水産食品部からの研修団を受け入れました（10月29日）

日本の農業経営や協同組合等の視察を目的として関西各地での研修の一環として、奈良県生協連にも要請があり、仲宗根専務はじめならコープ森理事長等が出迎えました。森理事長から「ならコープの成り立ちと生協の理念」について説明後、活発な質疑応答や交流が行われました。その後ならコープのコープ朱雀を見学されました。有機農産物等に熱心に質問され、店内視察とともにお買い物も楽しまれていました。



## □2009年度第2回生協・行政協議会（11月19日）

2009年度第2回生協・行政協議会が奈良県消費・生活安全課から山菅課長、姫野課長補佐、三浦係長、福井主査にご出席いただき、11月19日に行われました。協議会では、10月17日に提出した県知事への要望書に対する回答を頂き意見交換が行われました。消費生活審議会の公募制の検討や食品安全条例の検討等全項目に対し関連部局の意見も取りまとめ丁寧に答えていただきました。



## 映画「未来の食卓」上映会

【日時】2009年 1月15日(金)  
3回上映 10:00～12:00  
13:00～15:00  
18:40～20:40

【場所】やまと郡山城ホール小ホール

### 【内容】

南フランスの小さな村が、子どもたちの未来を守るため“小学校の給食と高齢者の宅配給食を全てオーガニックにする”という前例のない試みに挑戦しました。その一年間を描き、オーガニックブームを巻き起こしたドキュメンタリー。国民の健康よりも生産者や企業の利益を優先する現代の食産業の実態に真正面から触れ、人間と自然の調和をスクリーンに美しく描き出した意欲作です。 上映時間：112分（字幕）

■入場料：当日 800 円、前売り 700 円、  
団体割引 3000 円（5枚セット）

### ■座席自由席

※ 17:00～18:00 映画「田んぼ」上映会同日開催  
（別途参加費 100 円）

### ■申込み・問合せ 生活協同組合コープ自然派奈良

〒639-1114 大和郡山市新庄町 205-1

Tel：0743-59-6660（月～金 9:00～18:00）



## 伊賀有機収穫祭に行ってきました。

11月28日に50名で参加しました。この収穫祭は、伊賀有機主催で、もう20年以上続いています。1年間の収穫に感謝して、食べ物の命に感謝しようという目的ではじめられ、野菜を頂いているものとして一緒に参加しています。心もおなかも満たされた1日となりました。

（生活クラブ生協理事会通信N o 36から）



# 「消費者庁発足と地方消費者行政の課題と展望」

～活性化計画の進捗と事業者、消費者団体の取り組み～

消費者問題の解決には消費者、事業者、弁護士や司法書士・専門相談員などの専門家、行政の連携が重要です。2009年9月消費者庁の設立で新たなステージに立ったことを記念し、この間の経過や問題、将来の課題など、それぞれの立場から意見を出し合い、消費者行政充実のための機会としたいと思います。

■開催日時：2010年 2月3日(水) 13:30～16:30 (開場 13:00)

■会場：奈良弁護士会館 (奈良市中筋町22番地の1・近鉄奈良駅①番出口徒歩3分)

■参加費：無 料

■主催：奈良県、奈良弁護士会、奈良の消費者行政を考える会

## ■プログラム

### I 基調講演「消費者庁の発足と地方消費者行政の課題と展望」

講師：片山 登志子 弁護士(消費者支援機構関西KC's副理事長 消費者ネット関西専務理事)

### II パネルディスカッション

- ・奈良県消費・生活安全課長 山菅 善宣氏 ・奈良市長 仲川 げん氏
- ・ACAP西日本支部長 馬場 新一氏 ・奈良の消費者行政を考える会 仲宗根 迪子氏
- ・コーディネーター 片山 登志子 弁護士

\*申込み・お問い合わせは

奈良県生協連 tel:0742-34-3535  
fax:0742-34-0043

## 「奈良県の食の安全を考える学習会」を開催します。

1. 日時：2010年 2月22日(月) 午前10:00～12:30 (受付9:30～)
2. 場所：奈良商工会議所 4階小ホール (近鉄奈良駅より徒歩2分・公共交通機関でお越しください)
3. 対象：奈良県生活協同組合連合会 会員生協理事・リーダー組合員・関係職員 (定員50名)
4. テーマ：「奈良県の食の安全を考える」

- (1)食品安全行政に関する生協のこれまでの取り組み
- (2)奈良県の食の安全確保の取り組みの報告  
奈良県消費・生活安全課 課長補佐 姫野 隆昭氏
- (3)京都府食の安心・安全推進条例の取り組みについて  
京都府生協連 事務局長 坂本 茂氏

奈良県生協連理事で奈良県立大学生協の崎濱誠理事が大学生協京滋・奈良地域センターに異動され、長門裕明新店長が着任されました。



崎濱 誠さん



長門 裕明さん

# 県連日誌

## 10月

- 8日 こむらいふ奈良
- 13日 近畿地区府県連協議会
- 16日 地連府県連協議会
- 17日 なら森と木のフェア
- 19日～20日 高専生協県指導検査
- 20日 奈良の消費者行政を考える会
- 21日 食料農業シンポジウム
- 22日 県連上期監査
- 26日 ピースアクションすすめる会
- 29日 韓国農林水産食品部研修

## 11月

- 14日 温暖化防止COP15ネットワーク関西代表団壮行会
- 14日 県林政課シンポジウム
- 15日 賀川豊彦献身100年記念企画(生協大会)
- 16日 大阪消費者対話集会(大阪消団連)
- 17日 地連災害対策協議会
- 19日 第4回理事会、生協・行政協議会
- 24日～25日 コープ自然派奈良県指導検査
- 24日 奈良の消費者行政を考える会
- 25日 KC's理事会

## 12月

- 1日 地連運営委員会
- 2日 奈良農政事務所消費者団体意見交換会
- 4日 KC's 消費者行政担当者懇談会
- 7日 近畿財務局モニター会議
- 9日 日生協県連責任者会議
- 10日 県連平和活動交流会
- 10日～17日 COP 15 代表団参加
- 11日 大規模災害フェーズ1検討会議
- 12日 クールな地球へ！京都アクション2009
- 14日 ピースアクションすすめる会
- 22日 賀川記念事業神戸PJ式典

# お知らせ

## 「第24回 反核・平和の集い」

『核兵器のない世界をめざして — 今、逃してはならない平和へのチャンス —』

**講演者** スティーブン・リーパー さん (財団法人 広島平和文化センター理事長)

**日時** 2010年 2月14日(日) 午後2時～4時

**会場** 奈良県文化会館小ホール **参加費** 無 料

●主催：(財)奈良YMCA ●後援：奈良県生活協同組合連合会 他 ●協力：Yes! キャンペーン実行委員会

**申し込み  
問い合わせ**

(財)奈良YMCA 〒631-0824 奈良市西大寺国見町2-14-1  
TEL 0742-44-2207 FAX 0742-46-7550

## 編集後記

新年おめでとうございます。昨年の一  
番の出来事は政権が変わったこと。それ  
と共に政治の手法も変わりつつあります  
。「事業仕分け」なるものが衆目の中で行  
われ、国の事業の一面を見ることになり  
ました。賛否は兎も角、私たちも新たな  
政治への参画を試されることとなります。

(迪)

COP15の会場では英語のシャワーを  
浴びました。国際社会での日本人の存在  
感の小ささを実感。国連会議ではいまだ  
に敗戦国であるイタリア、ドイツ、日本  
の同時通訳はありません。英語を母国語  
のように話せなければ、伝えたいことは  
もとより微妙なニュアンスが伝わらず誤  
解もありそう。「テイクノート」(留意す  
る)という訳も難しい。国際会議の場で  
駆け引きする政治家や官僚の厳しさや難  
しさを垣間見たように思いました。(順)

昨年の漢字は、「新」でした。県連の  
活動も新たなチャレンジの年でした。今  
年も、いくつか新たな取り組みがあり  
「新」となりそうです。よろしくお願  
いします。

(和)

奈良県生活協同組合連合会 〒630-8136 奈良市恋の窪1丁目2-2  
TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043  
URL <http://www.narakenren.coop/>